

令和7年度 第4回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月12日（木） 午前9時から午前10時40分まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、今中 秀裕、中川 清子、杉山 晴康、中村 将義、
鈴木 憲人、曾布川 洋平、松井 育子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター長）
- 6 学 校 大石 泰三（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、
舩越 裕康（CS担当教職員）、原 真衣子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 原 真衣子
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、今中委員が本日の議長を務めることを申し出て、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - （1）学校関係者評価（「いじめ防止基本方針」の取り組みを含む）
 - （2）来年度の学校運営の基本方針について
 - （3）学校運営協議会の自己評価
 - （4）夢育やらまいかCS加算分の報告
- 11 会議記録
司会のCS担当教職員から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価（「いじめ防止基本方針」の取り組みを含む）

- 議長の指示により、CS担当教職員から、別紙資料に基づき学校関係者評価及びいじめ防止基本方針の取り組みについて説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - LINEを使った誹謗中傷などがあると聞くと、SNS関係の問題は表面化しにくく、問題を把握したときには解決するのが困難な状況になってしまっていることがある。どのように早期把握すればいいのかということが課題だと感じる。（中村委員）
 - 子供たちにとってSNSはとても身近なものになっている。学校では情報モラルの講座を開くなどの取り組みを行っているが、家庭でもアンテナを高くして、学校と家庭双方で問題の早期発見に努めていく。（校長）
 - スマホは連絡手段として使うだけでなく、子供の所在地が分かるので防犯面でも安心できるところがあるため持たせている。子供が高学年になってくると、異性の親とは少し距離を置くようになり深く関わるのが難しくなってくるように感じる。（中村委員）

- 親が子供のSNSの使用状況について把握しておくべきであると思うが、何か問題が起きたときには、自分からSOSを出すことが必要である。親に伝えられたら良いが、親には言いにくいという場合もあるのではないかと。子供にとって、親以外で信頼できる大人として一番近い存在なのは先生方だと思う。家庭でも学校でも、子供がなんでも話せる関係性を目指し、学校が家庭とは別の安全地帯になったら良い。(杉山委員)
- 学校では担任や学年を超えて多くの教員が子供と関わり、たくさん目の目で子供たちを見守るようにしている。家庭への連絡では、問題があったときだけでなく良いことも連絡をするようにしている。保護者が気になったことなどを気軽に学校に話せるような関係を築くことが大切だと思う。(校長)
- 挨拶について、6年生になるとかなり多くの子が挨拶できるようになるが、できていない子供も多くいる。毎月挨拶の日があるが、やはり何度も伝えていくしかないのではないかと感じている。(鈴木委員)
- 放課後児童会でも挨拶できない子供が多いけれど、自分で言えたときはたくさん褒めるようにしている。挨拶したくない気分の子供には無理に挨拶させるのではなく、自分で言えたときに褒めるという方針で指導している。(中川委員)
- 朝正門に立っていると、東小を卒業した中学生がいつてきますと大きな声で挨拶してくれるのがとても嬉しい。今後も根気強く挨拶の大切さについて伝えていきたい。(校長)

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

- 議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき来年度の学校運営の基本方針について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

- 議長の指示により、教頭から、学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - 運営協議会で出た意見をもとに、授業参観の時間が変更された。熟議の内容が学校運営に反映されている良い例だと感じる。また、学校ホームページやブログ、さくら連絡網を通じて、よく情報発信をしていたように思う。屋外の掲示板に学校の基本方針が掲示してあるのは素晴らしい。(今中委員)
 - 毎月の学校だよりでもよく学校の取り組みを発信しており、回覧などで地域の人が情報を目にする機会を設けているように感じる。(小名木会長)
 - 挨拶運動は学校だけでなく、地域として行っていくことが重要だと思う。民生委員や児童委員が挨拶運動に関わって、地域全体として子供たちを育てていくという意識を持っていく。継続することが大事である。(杉山委員)

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

- 議長の指示により、教頭から、夢育やらまいかCS加算分について説明があり、全員異議なくこれを了承した。

○ 学校支援コーディネーターからの報告

- ・ 認知症講座やミシン補助ボランティアなどを行った。
- ・ 学校支援コーディネーターとして1年活動してきたが、もっと学校の現状を知ることが大切であると感じた。そのうえで今必要な支援ができるよう、自分にできることをやっていきたい。

○ その他

司会から、次回会議は、令和8年5月11日（月）午前9時から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。

次回議長については、委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを了承した。